

大学の皆さんから 政策提案を募集します

「大学発・政策提案制度」は、県内に所在する大学の皆さんから県政に関わる政策提案を募集し、公開コンペにより選ばれた提案について、大学と県が協働で事業を実施するものです。平成23年度も、4月1日から5月31日まで提案を募集する予定です。詳しくは、大学に送付する募集要項又は県のホームページをご覧ください。多くの大学の皆さんの提案をお待ちしております。

○大学発・政策提案制度の概要○

(1) 提案者の資格

県内に所在する大学（短期大学、大学院大学）

(2) 提案の内容

県の総合計画「神奈川力構想」の推進に関わる政策

(3) 総事業費

1事業あたり単年度1,000万円以内

(4) 事業費の負担方法

大学と県が2分の1ずつ負担。ただし、大学は、教員及び学生の労務を別に定める基準で換算した額を大学の負担とみなすことができる。

(5) 事業の実施期間

原則として、平成24年度単年度。必要性が認められるものであれば、平成24年度及び25年度の2年間とする。

(お問い合わせ先)

県政策研究・大学連携センター～シンクタンク神奈川～

電話：045-411-2579

E-mail：daigaku@pref.kanagawa.jp

URL：<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/01/0102/daigakuhatu/proposal.html>

編集後記

○昨年4月から「子どもの安心のための政策」研究を進めており、まもなく報告書が完成します。平坦な道のりではありませんでしたが、この研究をしていたからこそ出会えた人がたくさんいました。多くの知見と知的刺激をもらいました。さて、いよいよ世に出る「神奈川力〇大学力」。この機関誌を介してたくさんの知的な出会いが生まれることを期待したいです。（岸本）

○機関誌の創刊にあたり表紙デザインを県内大学生から公募しました。県職員歴数年の私でも公募要領にあった「神奈川力」とは…??「かながわの先進性」とは…??と頭を悩ませていたところ、学生さんからこんなフレッシュなデザインを応募いただきました。感謝！4月で2年目を迎えるシンクタンク神奈川ですが、いつまでもフレッシュさは忘れずに邁進していきたいものです。（原田）

○この冬はとりわけ寒さが厳しかった。自治体シンクタンクも厳しい財政を考えると冬の時代。しかし、自治体の大切な役割の1つは、未来の設計図を描いた上で税金の使い道を決めることである。だとすればシンクタンクの意義はむしろ大きいはずである。そのための情報発信として、たくさんの方々の力を頂き、本号の発刊にこぎ着けた。やってくる春に更なる飛躍をめざしたい。（中寫）